

12月17日 土屋まさただ 総務副大臣が講演 遠野スタイルのまちづくりを

本市の友好都市・東京都武蔵野市の元市長で、現総務副大臣の土屋さんが本市を視察し、あえりあ遠野交流ホールで基調講演を行いました。市関係者や地域住民ら200人が出席。土屋副大臣は「遠野ならではのまちづくりと地域づくりを磨き、良い部分を全国に発信してもらいたい」とエールを送りました。



市民にエールを送る土屋総務副大臣

12月13日 第1回とおのチビリンピック大会 アスリートの卵を発掘しよう

NPO法人オヴェンセと県建設業協会遠野支部は、子どもの身体能力を測定し、秘めた才能を発掘するイベントを市民センター体育館で初開催しました。参加した市内の4～6歳児約50人は、障害物走やテニスボール投げ、風船割りなど10種目の競技に挑戦。総合得点の高い参加者には、表彰状が贈られました。



楽しみながら競技に取り組む児童ら

11月26日 市教育委員会教育委員辞令交付式 母親の目線で教育の充実を

市教育委員会教育委員の馬場明子さん(45歳)＝早瀬町＝の退任に伴い、新たに千田由美子さん(48歳)＝小友町＝が着任しました(任期は平成31年11月25日まで)。辞令交付式は同日、市役所とびあ庁舎で開かれました。千田さんは「母親の視点を生かし、遠野の教育環境充実を目指します」と抱負を述べました。



退任した馬場さん(左)と着任した千田さん

11月24日 市内全郵便局と災害時協力協定締結 災害時は全局一丸で対応

市は市内の郵便局11局と災害時の協力協定を締結しました。協定内容は、市内で地震などの災害が発生した場合に、緊急車両を提供、避難所や避難先リストを共有、郵便配達中に確認した被害の情報提供などを行うもの。高橋正彦遠野郵便局長は「有時には全局をあげて市民を守りたい」と決意を述べました。



安全・安心なまちづくりを誓いました



復興と地域活性化を加速させる「東北横断自動車道釜石秋田線」の遠野～宮守間開通



1・2 開通式では安倍内閣総理大臣ら関係者と鱒沢小児童がテープカット 3・4 ウォーキング&マラソン大会も開催 5 遠野西中の吹奏楽部が式典を盛り上げました 6 温かいひつまじや甘酒で参加者をもてなす地元住民 7 安倍内閣総理大臣らは記念イベントを開催する風の丘を視察 8・9 沿道では多くの市民が開通記念パレードをお出迎えしました



遠野 I C 待望の開通!

復興支援道路に位置づけられる「東北横断自動車道釜石秋田線」の遠野～宮守間(9km)は12月5日、供用開始されました。開通式は同日、宮守インターチェンジ付近で行われ、安倍晋三内閣総理大臣をはじめとする国、県、沿線自治体などの行政関係者や工事関係者、地域住民ら160人が出席。本田市長は「命

と絆をつなぎ、復興を力強く支援する大切な道路。産業振興や地域活性化などさまざまな分野にもつなげていきたい」と決意を述べました。同日は、開通記念パレードのほか、開通前の道路を使用してのマラソン&ウォーキング大会や遠野風の丘の記念イベントなど多彩な催しが行われ、多くの市民が参加しました。残る遠野～遠野住田間(11km)は現在工事中で、平成30年度に開通する予定です。

12月6日 遠野市郷土芸能共演会 継承活動の成果を堂々と

市郷土芸能協議会が主催する共演会は、みやもりホールで行なわれました。市内から、長野しし踊り、青笹しし踊り、平倉神楽、鱒沢神楽、小倉神楽、上宮守参差踊、米田大神楽、暮坪虎舞の8団体が出演。それぞれの団体は、地域の宝である郷土芸能を堂々と披露し、訪れた260人の観客を魅了しました。



おごそかな舞を披露する米田大神楽

12月1日 第41回遠野物語ファンタジー旗揚げ会 感動の舞台に向けスタート!

第41回公演「お月お星の涙」の旗揚げ会はあえりあ遠野中ホールで行われ、スタッフ・キャストら100人は舞台の成功を誓いました。今作は、昭和54年の第4回公演をリメイクした感動の物語。2月20・21日に計3公演の日程で、みやもりホールで開催します。チケット発売中。詳しくはP3の綴じ込みチラシへ。



舞台の成功を誓い合うキャストら

12月8日 建物火災の消火活動に協力 お手柄! 遠野高生に感謝状

11月13日に附馬牛町で発生した建物火災で、消防団の消火活動に協力し、延焼を防いだ遠野高2年の北湯口至さんに、市消防本部消防長から感謝状が贈られました。感謝状贈呈式は同校の校長室で行われ、北湯口さんは「地域の安全な暮らしのために、自分にできることで協力していきたい」と語りました。



消火活動に協力した北湯口さん(中央)

12月6日 遠野一輪車クラブスポーツ少年団発表会 全国トップクラスの演舞披露

発表会は市民センター体育館で開かれ、園児から高校生までの34人の団員は、ソロ、ペア、グループの21演目を繰り広げました。今回は、地元の音楽グループA・E・L音工房の生演奏や郷土芸能とのコラボレーションにも挑戦。団員による多彩でダイナミックな演舞に、会場からは大きな拍手が送られました。



息の合った群舞は圧巻